

学会専門医数について

学会名	専門医名称	専門医数
I. 基本領域専門医(学会)		
日本内科学会	総合内科専門医	14,439名
日本小児科学会	小児科専門医	13,967名
日本皮膚科学会	皮膚科専門医	5,862名
日本精神神経学会	精神科専門医	15,070名
日本外科学会	外科専門医	21,150名
日本整形外科学会	整形外科専門医	17,689名
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	12,484名
日本眼科学会	眼科専門医	10,355名
日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	8,443名
日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医	6,253名
日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	7,140名
日本医学放射線学会	放射線科専門医	5,705名
日本麻酔科学会	麻酔科専門医	6,084名
日本病理学会	病理専門医	2,124名
日本臨床検査医学会	臨床検査専門医	642名
日本救急医学会	救急科専門医	3,237名
日本形成外科学会	形成外科専門医	1,959名
日本リハビリテーション医学	リハビリテーション科専門医	1,787名
II. Subspecialty領域専門医(学会)		
日本消化器病学会	消化器病専門医	17,105名
日本循環器学会	循環器専門医	12,166名
日本呼吸器学会	呼吸器専門医	4,595名
日本血液学会	血液専門医	2,836名
日本内分泌学会	内分泌代謝科(内科・小児科・産婦人科)専門医	1,968名
日本糖尿病学会	糖尿病専門医	4,338名
日本腎臓学会	腎臓専門医	3,452名
日本肝臓学会	肝臓専門医	4,829名
日本アレルギー学会	アレルギー専門医	4,042名
日本感染症学会	感染症専門医	1,072名
日本老年医学会	老年病専門医	1,488名
日本神経学会	神経内科専門医	4,887名
日本消化器外科学会	消化器外科専門医	5,097名
日本胸部外科学会	呼吸器外科専門医	1,168名
日本呼吸器外科学会		
日本胸部外科学会	心臓血管外科専門医	1,716名
日本心臓血管外科学会		
日本血管外科学会		
日本小児外科学会	小児外科専門医	581名
日本リウマチ学会	リウマチ専門医	4,463名

学会名	専門医名称	専門医数
Ⅲ. 今後認定を検討する専門医(学会)		
日本小児神経学会	小児神経科専門医	1,083名
日本心身医学会	心身医療専門医	693名
日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医	16,320名
日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医	1,666名
日本気管食道科学会	気管食道科専門医	1,259名
日本周産期・新生児医学会	周産期(新生児)医専門医 周産期(母体・胎児)医専門医	413名
日本生殖医学会	生殖医療専門医	423名
日本人類遺伝学会	臨床遺伝専門医	622名
日本超音波医学会	超音波専門医	1,795名
日本核医学会	核医学専門医	1,146名
日本集中治療医学会	集中治療専門医	878名
日本輸血・細胞治療学会	日本輸血・細胞治療学会認定医	378名
日本東洋医学会	漢方専門医	2,150名
日本温泉気候物理医学会	温泉療法専門医	222名
日本臨床薬理学会	臨床薬理学認定医	187名
日本産業衛生学会	産業衛生専門医	458名
日本病態栄養学会	病態栄養専門医	148名
日本透析医学会	透析専門医	4,269名
日本臨床腫瘍学会	がん薬物療法専門医	586名
日本総合病院精神医学会	一般病院連携精神医学専門医	372名
日本アフェシス学会	血漿交換療法専門医	181名
日本ペインクリニック学会	ペインクリニック専門医	1,469名
日本脳卒中学会	脳卒中専門医	3,222名
日本臨床細胞学会	細胞診専門医	2,472名
日本心療内科学会	心療内科専門医	131名
日本放射線腫瘍学会	放射線治療専門医	877名
日本頭痛学会	頭痛専門医	736名
日本てんかん学会	てんかん臨床専門医	376名
日本インターベンショナル・ラジオロジー学会	IVR専門医	670名
日本脳神経血管内治療学会	脳血管内治療専門医	546名
日本肝胆膵外科学会	高度技能医	12名
日本脈管学会	脈管専門医	678名
日本乳癌学会	乳腺専門医	973名
日本人間ドック学会	人間ドック健診専門医	612名
日本高血圧学会	高血圧専門医	466名
日本手外科学会	手外科専門医	730名
日本総合健診医学会	人間ドッグ健診専門医	180名
日本心血管インターベンション治療学会	心血管インターベンション専門医	834名
日本小児循環器学会	小児循環器専門医	254名
日本プライマリ・ケア連合学	家庭医療専門医	232名
日本頭頸部外科学会	頭頸部がん専門医	194名
日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医	580名

(参考) 日本専門医制評価・認定機構 専門医の現在数
(平成23年8月現在)

専門看護師の各分野の特徴と登録者数 (人数は2012年2月1日現在)

専門分野	認定開始年月	特徴	人数
がん看護専門看護師	1996.6	がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供する。	327
精神看護専門看護師	1996.6	精神疾患患者に対して高度な看護を提供する。また、一般病院でも心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供する。	116
地域看護専門看護師	1997.6	産業保健、学校保健、保健行政、在宅ケアのいずれかの領域において水準の高い看護を提供し、地域の保健医療福祉の発展に貢献する。	23
老人看護専門看護師	2002.5	高齢者が入院・入所・利用する施設において、認知症や嚥下障害などをはじめとする複雑な健康問題を持つ高齢者のQOLを向上させるために高度な看護を提供する。	41
小児看護専門看護師	2002.5	子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する。	73
母性看護専門看護師	2003.11	女性と母子に対する専門看護を行う。主たる役割は、周産期母子援助、女性の健康への援助、地域母子保健援助に分けられる。	38
慢性疾患看護専門看護師	2004.3	生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する高度な看護を行う。	63
急性・重症患者看護	2005.3	緊急度や重症度の高い患者に対して集中的な看護を提供し、患者本人とその家族の支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援する。	85
感染症看護専門看護師	2006.11	施設や地域における個人や集団の感染予防と発生時の適切な対策に従事するとともに感染症の患者に対して高度な看護を提供する。	15
家族支援専門看護師	2008.11	患者の回復を促進するために家族を支援する。患者を含む家族本来のセルフケア機能を高め、主体的に問題解決できるよう身体的、精神的、社会的に支援し、水準の高い看護を提供する。	14
総計			795

日本看護協会HPより

認定看護師各分野の特徴と登録者数 (2012年2月1日現在)

認定看護師	認定開始年月	知識と技術(例)	人数	認定看護師	認定開始年月	知識と技術(例)	人数
救急看護	1997.6	救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 災害時における急性期の医療ニーズに対するケア 危機状況にある患者・家族への早期的介入および支援	614	透析看護	2005.8	安全かつ安楽な透析治療の管理 長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	133
皮膚・排泄ケア	1997.6	褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 患者・家族の自己管理およびセルフケア支援	1,595	手術看護	2005.8	手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理(体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等) 周手術期(術前・中・後)における継続看護の実践	208
集中ケア	1999.6	生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施(体位調整、摂食嚥下訓練等)	641	乳がん看護	2006.7	薬学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	163
緩和ケア	1999.6	疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 患者・家族への喪失と悲嘆のケア	1,089	摂食・嚥下障害看護	2006.7	摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施	302
がん化学療法看護	2001.8	がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 副作用症状の緩和およびセルフケア支援	843	小児救急看護	2006.7	救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	130
がん性疼痛看護	1999.6	痛みの総合的な評価と個別のケア 薬剤の適切な使用および疼痛緩和	558	認知症看護	2006.7	認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 行動心理症状の緩和・予防	178
訪問看護	2006.7	在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援およびケースマネジメント看護技術の提供と管理	266	脳卒中リハビリテーション看護	2010.6	脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア 活動性維持・促進のための早期リハビリテーション 急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援	184
感染管理	2001.8	医療関連感染サーベイランスの実践 各施設の状態の評価と感染予防・管理システムの構築	1,359	がん放射線療法看護	2010.6	がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 安全・安楽な治療環境の提供	64
糖尿病看護	2002.8	血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援	321	慢性呼吸器疾患看護	2012(見込み)	安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 急性増悪予防のためのセルフケア支援	養成中
不妊症看護	2003.8	生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供および自己決定の支援	110	慢性心不全看護	2012(見込み)	安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 心不全増悪因子の評価およびモニタリング	養成中
新生児集中ケア	2005.8	ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	236	総計			8,994

日本看護協会HPより